

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	学年	第3学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	新編論理国語（大修館書店）				
補助教材	常用漢字ダブルクリア 四訂版（尚文出版） 〔新版六訂〕カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期 考查
1 学期	4月	豊かさとは生物の多様性	異なる思考の方向性を読み取り、自己の思考を深める。また、近代思考へ疑問を持ち、人間の本当の豊かさについて考える。	中間 考查
	5月	カフェの開店準備	体験に基づく文書を読み、表現に注意して筆者の考えを捉え、視点を変えることで受け止め方が変化することを知り、文章の持つ力を感じ取る。	
	6月	鏡としてのアンドロイド	人工知能の研究も進んだ現在、ロボットを通して「人間とは何か」という問に迫り、作ることは自分を知る行為だということを考える。	期末 考查
	7月	ロボットが隣人になるとき	科学技術が進展を続ける現代社会において、ロボットを話題にしながら、これに向き合う私たち人間自身について考察しどうあるべきかを考える。	
2 学期	8月	言葉は「ものの名前」ではない	「ものと名前の関係」の捉え方を確認し、それとは異なる新しい言語観を知り、当たり前の中に立ち止まって思考し新たなものの見方に気づく。	中間 考查
	9月	知識における作者性と構造的性	対比に注意して違いを読み取り、インターネット時代を生きる私たちは、筆者の主張を捉え書籍を読むことの重要性を再確認する。	
	10月	ホンモノのお金の作り方	具体例と抽象的な説明に着目して内容を的確に捉え、これからの社会を生きる上で考えるべきである「経済」と「未来」について考察する。	期末 考查
	11月	思考のツール・発想の方法	未来は漫然と待つものではなく自身が作り出すものだということを自覚し、そのためにはどうするべきかということを考える。	
	12月	思考のツール・発想の方法	未来は漫然と待つものではなく自身が作り出すものだということを自覚し、そのためにはどうするべきかということを考える。	
3 学期	1月	未来のありか	「未来」は「現在」の中にあるということに気づき、「未来」は自分たちで「創り出していく」ものだという事実を確認する。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

学習の方法	<p>事前学習では、言葉の意味を調べたり辞書を活用して語彙を増やしましょう。普段から新聞やニュースに触れたり読書をするなどして、文章を読む習慣や意見をしっかりと書く習慣を身につけましょう。</p>
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	<p>評価の観点を踏まえ、定期考查の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。</p>		